

富川を変える新しいアイデア、

「ワンチーム富川」政策発表会を開催

富川市公務員自発的参加で進行… 3つの優秀政策アイデアを選定

チョ・ヨンイク富川市長 「変化はごく小さいアイデアから」



▲富川市は今年15日、富川市庁のオウルマダンでワンチーム富川政策発表会を開催した。

富川市（市長：チョ・ヨンイク、趙甬翼）は今年15日、「富川を変える新しいアイデア」というテーマで「ワンチーム（One-Team）富川」政策発表会を開き、3つの優秀政策（提案）アイデアを選定した。富川市所属公務員の自発的な参加により出された政策アイデアだという点でその意味が大きいという評価だ。

同日の発表会は、富川市庁のオウルマダンで第1次・第2次の審査を通った6つのチームと現場評価団などの350人が参加し、リアルタイムの現場審査（審査委員会8人(60%)と現場評価団200人(40%)）の評価を経て優秀なアイデアを決める形で行われた。



▲富川市は今年15日、富川市庁のオウルマダンでワンチーム富川政策発表会を開催し3つの優秀なアイデアを選定した。

最優秀賞は、「都市空間プラス+、富川ウェイパーク (Bucheon Way Park) へ」を提案した都市計画課地区単位チームが受賞した。

優秀賞には、「アプリ (App) を通じた官民協力による町単位の介護共同体の構築、スマートオン (ON、温) 富川」(福祉政策課福祉政策チーム)、「富川：工業ベルトから文化ベルトへ」(建築デザイン課景観デザインチーム) が選ばれた。

審査は、現場でリアルタイムで行われ、提案されたアイデアの創意性・効率性・経済性・実現可能性などを基準に評価が行われた。

一方、同日の発表会では、講演、政策 (提案) 発表バトル、コミュニケーション・共感トークショーなど、多彩なイベントも実施された。



▲チョ・ヨンイク(趙甬翼)市長と優秀政策アイデアに選定された3つの部署が記念撮影を行っている。

最優秀アイデアに選ばれた都市計画課地区単位チームは「チームメンバー間の深い議論を通じてアイデアの現実性を検討できたことが良い結果を出すことができた秘訣だった」と伝えた。

同日参加したチョ・ヨンイク(趙甬翼)富川市長は、「変化はごく小さいアイデアから始まる」とし、「部署間の仕切りのないコミュニケーションと協業を通じて行政の効率を高めると共に優秀な政策を継続的に発掘することで、新しい富川の100年を開いていく」と述べた。